

名洗港を拠点港に

洋上風力発電事業については令和2年7月、銚子市沖海域が「促進区域」に指定され、11月から事業者の公募が始まりました。今年11月ころにも発電事業者が決定し、早ければ令和9年に発電が開始されます。

風車の設置やメンテナンスのために、長期間にわたり、地元の資材が活用されたり、雇用の機会が増えるといった効果が期待されます。風車は部品数が1〜2万点にも及び、関連産業への波及効果が期待できます。名洗港を拠点港湾とした関連産業の集積、サプライチェーンの形成を目指し、洋上風力発電事業を漁業振興・産業振興・経済発展につなげる「銚子モデル」の実現に向け、オール銚子の体制で取り組みます。

ゼロカーボンシティ

2月16日、「ゼロカーボンシティ」を表明しました。2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指すものです。国が強力に進め

る「脱炭素社会の実現」に向け、洋上風力発電などの再生可能エネルギーを活かした取組を進めます。

新たに開く2つの扉

令和2年度は、犬吠埼灯台の重要文化財指定、銚子ジオパークの再認定という明るいニュースがありました。新年度は、新たに2つの扉が開きます。

1つは東総3市の東総地区広域市町村圏事務組合による野尻町の東総地区クリーンセンターと森戸町の最終処分場の稼働です。15年にわたる紆余曲折を経て、悲願の広域ごみ処理事業が銚子の地でスタートすることになります。地元の皆さまのご理解とご協力に改めて感謝するとともに、安全運転の徹底を求めています。

もう1つの扉は、銚子西中学校の開校です。スクールバス運行のためのロータリーやテニスコートの整備を行いました。「生きる力」を育み、子どもたちが力強く、豊かに成長できる学校教育を進めます。新たな出会いと体験を築き、「統合してよかった」と言ってもらえる学校づくりを目指します。

